

子どもたちに 核兵器のない世界を

核兵器廃絶めざす
全教メールニュース
第38号 2010.6.2.

5月28日、NPT再検討会議が最終文書を全会一致で採択

私たちの運動が世界政治を動かし、核兵器 廃絶の国際交渉開始へ足がかりを築いた！

NPT（核不拡散条約）再検討会議は、カバクテュラン議長や国連関係者などがギリギリまでの調整に奮闘し、ついに最終日の5月28日、10年ぶりの合意文書を全会一致で採択しました。

3日から始まった会議の中では、非同盟諸国首脳会議や新アジェンダ連合の国々から、核保有国に核軍縮の義務履行を求める発言が続き、第1委員会（核軍縮を担当）の議長が、「2011年までに核保有国が核軍縮のための交渉を開始する、2014年に核兵器廃絶にむけた工程表（ロードマップ）づくりのための国際会議を開く」との素案を発表しました。これは、NPT会議史上で初めてのことでした。

核保有国の巻き返して、期限を切った核廃絶交渉の開始を約束させることはできませんでしたが、最終文書では、「核廃絶の約束実行」を再確認し、核兵器廃絶の「具体的な進展」を核兵器国に約束させ、2014年のNPT準備委員会に報告させ、15年のNPT再検討会議で検討することを確認するなど、核兵器廃絶の国際交渉開始へ重要な足がかりを築きました。

【NPT再検討会議「最終文書」から】

2000年NPT再検討会議で合意された核兵器の完全廃絶を実現するという核兵器国の明確な約束を再確認する。

すべての国が、核兵器のない世界を達成し維持するために必要な枠組みを確立するための特別なとりくみをおこなう必要について確認する。

核兵器国は、すべてのタイプの核兵器を削減し、最終的に廃絶するためにいっそうの取り組みをおこなうことを約束する。核兵器国は、核軍備削減・撤廃に至る措置に関して、具体的な進展を促進することを約束する。

核兵器国は、上記の約束について、2014年のNPT再検討会議準備委員会に報告することが求められる。2015年再検討会議は、第6条（核保有国の核廃絶交渉義務）の全面履行のためのその後の諸措置を吟味し、検討する。

最終合意を勝ち取った力は「市民社会の熱意」

開会総会の冒頭に、「市民社会の熱意に私たちは応えなければなりません」と発言したカバクテュラン議長は、閉会の宣言で、「さまざまな対立、意見の食い違いがあったなかで、それを乗り越え、最終合意を勝ち取ることができた」と述べました。最終合意は、核兵器に固執する核保有国な



日本から届けた690万筆の「核兵器のない世界を」署名を前に立つカバクテュラン議長（右）とドゥアルテ国連上級代表

どの妨害を乗り越えて「勝ち取った」ものでした。閉会総会で、非同盟諸国を代表して発言したエジプト国連大使が、「市民社会から核兵器の完全禁止と核兵器のない世界の達成への希望が示され、それが総会の決意と政治的な意思につながった」と述べたように、世界の反核平和の運動と世論の力が、最終合意を勝ち取り、新たな核兵器廃絶の道を開く力となりました。



同時に、合意文書に、「加盟国の大半は、法的枠組みは具体的な日程を含むべきである」と記されたとおり、期限を切った核兵器廃絶交渉を主張した非同盟諸国などの奮闘が、合意をかちとる大きな力になりました。それに比べ、被爆国日本の政府は外務副大臣を送っただけで、核兵器廃絶のイニシアチブをまったく発揮せず、何の注目も受けなかったことは恥ずべきことでした。

【NPT再検討会議「最終文書」から】

本会議は、核兵器のない世界の達成に関する諸政府や市民社会（＝反核平和運動）からの新しい提案（＝核兵器廃絶のための国際交渉の開始）およびイニシアチブに注目する。

本会議は、核兵器禁止条約に関する、交渉の検討を提案しているパンギムン国連事務総長の核軍備削減・撤廃のための諸提案に注目する。

「核兵器のない世界」を実現する運動の確信と国際的連帯をいっそう深めよう 原水爆禁止2010年世界大会にすべての組織から 代表団を！ 未来を担う青年の派遣を！

今年の原水爆禁止世界大会は、NPTニューヨーク行動の成果と再検討会議の到達点に立って、5年後のNPT再検討会議にむけた運動の飛躍をつくる歴史的な大会です。全教は、被爆体験と被爆の実相を学習・継承し、平和学習と核兵器廃絶運動の担い手を広げるため、すべての組織からの代表派遣、とりわけ青年の派遣を呼びかけます。

【全教からの呼びかけ】

学習にとりくもう

- ・NPTニューヨーク行動の報告会、再検討会議の到達点の学習会、被爆体験を聞く会、原爆展など
- ・原水協の世界大会パンフ（1部300円）の学習

核兵器廃絶へ行動しよう

- ・国民平和行進、6・9行動に積極的に参加しよう。
- ・9月から始まる国連総会にむけた「核兵器のない世界を」国際署名（一部改定）にとりくもう。

すべての組織から代表団を派遣しよう

- ・昨年（38組織255名、青年14組織90人）を上回る参加を。特に、支部・職場から青年を送り出そう。
- ・参加者を6月中に決め、派遣カンパにとりくもう。

教職員平和のつどいを成功させよう

- ・被爆の実相を学習・継承し、平和教育実践の交流を。
- ・全教と教組共闘の核兵器廃絶運動の連帯を深める楽しい会に。全教広島にお世話になります。

NPTニューヨーク行動参加者に、国際会議への積極的参加をよびかけます。

世界大会の日程

【国際会議（広島）】 8月2日～4日

2日 14:00～開会総会・全体総会

3日 14:00～分科会

4日 9:30～閉会総会

【世界大会 - 広島】 8月4日～6日

4日 14:00～開会総会

5日 9:30～15:00 分科会

16:00～教職員平和のつどい

6日 10:30～閉会総会

【国際交流フォーラム（長崎）】

8月8日 13:00～16:00

【世界大会 - 長崎】全体集会

8月9日 10:30～13:00